

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援きたはまキッズわくわく	公表日	令和8年 3月 2日
------	-------------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	職員の配置数は適切であり、人手が欲しい場合はすぐ対応できる位置（事務室）に職員がいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりにマークがあり、ロッカーや座る位置にあらかじめ用意している。職員や子どもの写真を貼り、活動するカードを掲示し、見て分かるようにしている。 ・活動の流れなど分かりやすいように絵カードを使用している。 ・入所後身支度をする場所、自由あそびをする場所（玩具が用意されているところ）が分けられている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	毎日掃除をし、換気をしている。活動しやすいよう保育を考えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの整理がつかなくなったりした場合、落ち着けるよう個別の部屋へ移動をする。 ・落ち着かない時に刺激が少ない小さい部屋に入り落ち着くことができる。 ・気持ちを落ち着かせる小空間や個別指導室が設けられている。 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	会議だけでなく普段から話し合いが出来る状況であり活発に意見を出し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	保育を終えるたび、その都度「今日はどうだったか」と職員たちで話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	研修内容を共有し、研修に参加していない職員にも内容が伝わるようになっている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・HPにて毎月公開している。 ・リトミック、造形、巧緻性活動、ゲームあそび、感覚あそびの5つの活動にバランスよく取り組めるようにしている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	個人の様子を職員間で共有し話し合い、成長発達に合わせた対応を考えている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		随時アイデアを出し合ってより良い活動プログラムになるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・子どもの姿に合わせ活動内容を考え行っている。 ・同じリトミックでも違う内容になるようにプログラムを決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		非常勤の先生とも共有できるよう打ち合わせの時間を工夫しながら行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・次の支援へつなげられるよう意見を出し合い共有している。 ・子どもの様子で気付いたこと、活動の内容についての話し合い、振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		職員間で意見を出し合いながら見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		幼稚園の先生と利用児についての情報共有をこまめにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		かけはしシートを作成し、小学校に訪問予定。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		臨床心理士に定期的にスーパーバイズや助言を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		併設された幼稚園と行事などを通して一緒に活動する機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		HUGのソフトを使って、利用日は毎回子どもの状況を伝え合っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		講演会などで、保護者の方が自分の困り事などを言える機会などを設けている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		子どもの様子や、どんな支援をしているかも伝えながら個別支援計画について説明している。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者からの相談などには積極的に応じたいと思い支援している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎日行うソフトを使った記録の他、HPやインスタグラム、連絡アプリ等を活用して発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		今後、開かれた事業運営を図れるよう努めていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが発生した場合、職員間で共有し、記録としても残している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		